

悪路王(アテルイ)の首級が残る神社

——城里町高久・鹿嶋神社

城里町の屋外施設の「グリーン桂うぐいすの里」へ行く道すがらにある鹿嶋神社には不思議な彫刻が残されています。木彫りの人の首で、町の発行している文献によると、「悪路王の首級」の彫刻ということですが。

悪路王というのは平安時代に蝦夷地(東北地方)を守っていた指導者で、朝廷の坂上田村麻呂軍に敗れた武人でした。田村麻呂が陸奥の達谷窟(岩手県平泉付近)で悪路王を下し、帰国する際に、この悪路王の首を、神社前の「休塚」に埋め、その模型化した彫刻を奉納したと言い伝えられています。



※イラストはイメージとなり、史実とは異なります。

この首級は、水戸藩主光圀公や斉脩公が御矢倉方職人に命じて修理したことが記録されています。

実物は県立歴史館に保存されており、現在この神社にはレプリカが残されていますが、その写真を見ると物凄い形相で、子どもが見たら泣き出しなくなるほどのリアルで迫力あるものです。

坂上田村麻呂の伝説は県内各地に残されていますが、のどかな農村風景が広がるこの地域の神社になぜに悪路王の首が残されていたのかは大きな歴史ロマンを感じさせます。

鹿嶋神社では、毎年旧七月十日に虫干しの祭事と行い、その際一般の方々にも公開しておりますので、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

〈参考文献〉桂村郷土誌 三訂版 ほか



【問い合わせ】城里町教育委員会
【所在地】城里町高久754
【アクセス】水戸方面から国道123号城里町上坪の交差点を左折。うぐいすの里方面へ約1キロ右側

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>